

2021年度第 1 四半期決算の概要及び 2021年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2021年8月5日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

1. 2021年度第 1 四半期決算の概要

1) 主要関連指標動向

関連指標		21年度			
		1Q	20.4Q→ 21.1Q	2Q	21.1Q→ 21.2Q
自動車生産台数(世界)					
	日本			・半導体不足の影響は一部残るものの概ね 回復を見込む ・ASEANではCOVID-19再拡大により 減産	
	北米				
	中国	・半導体不足の影響により各地域にて 減産			
	ASEAN				
	欧州				
半導体市場		需要堅調		需要堅調	
市況	フェノール	・ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し 高水準で推移 ・アセトン市況 軟化		・ビスフェノールAの海外市況は、 下落を見込む (但し、前回予想を上回る水準)	
	ビスフェノールA				
	アセトン				
	TDI	・前半は上昇するも後半にかけ市況軟化		下落を見込む	
クラッカー稼働率		高稼働		高稼働	

2) 主な投資案件の状況

投資案件(一部)		時期	能力	FY20	FY21	FY22	FY23以降
モビリティ	PPコンパウンド新拠点設立@Netherland	20年6月	30KT				
	PPコンパウンド能力増強@Thailand	20年9月	13KT				
	ガラス長繊維強化PP新設@China	21年4月	3.5KT				
	アペル [®] 新プラント@Japan	22年3月	+50%				
	タフマー能力増強@Singapore	21年4月	25KT				
	EUVベリクル新設備@Japan	21年4月	-				
	ルーカント新拠点@Japan	21年4月	20KT				
ヘルスケア	ARRK社完全子会社化	20年8月	-				
	松風業務・資本提携強化	20年5月	-				
	超撥水・反射防止コーティング材 COTEC [®] 社買収	20年10月	-				
	テクノロート [®] 能力増強@Japan	20年11月	1 Line				
フード & パッケージング	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	23年10月	-				
	DIC化工買収	20年12月	13KT				
基盤素材	イクロステーブ [®] 能力増強@Taiwan	23年10月	380万m ²				
	α-メチルスチレン設備@Singapore	20年5月	20KT				
	大阪工場 ガスタービン新設備@Japan	20年12月	30MW				
	市原工場 高純度プロピレン能力増強@Japan	20年12月	-				
	本州化学工業 TOB	21年6月完了	-				
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年1月	200KT				
	高機能PP新設備 @Japan	24年11月	200KT				

21年度1Q 商業運転開始プラント等

21年度1Q 意思決定案件等

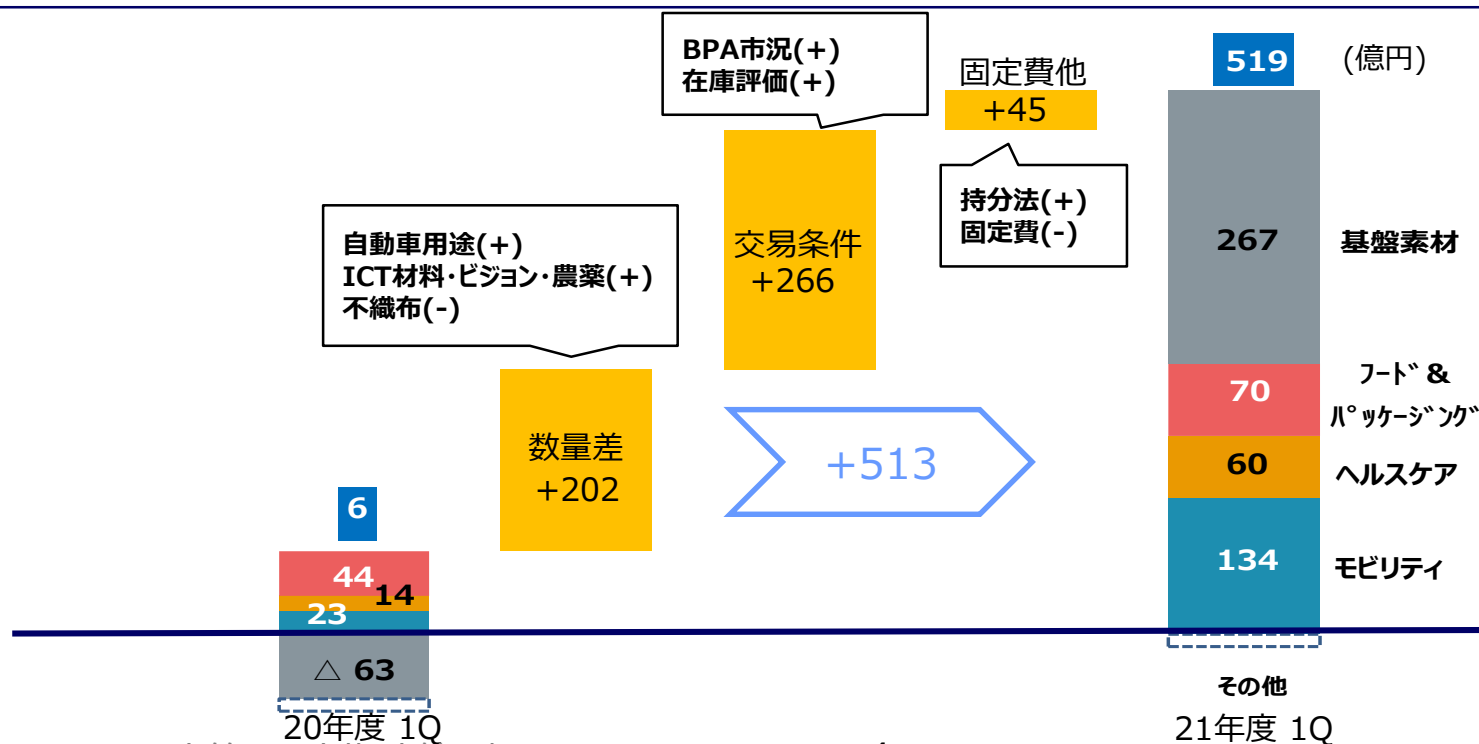
3-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	20年度 4-6月決算	21年度 4-6月決算	増減	増減率
売上収益	2,545	3,706	1,161	46%
コア営業利益	6	519	513	-
(うち、持分法による投資損益)	△ 12	78	90	-
非経常項目	△ 6	13	19	-
営業利益	△ 0	532	532	-
金融収益・費用	△ 5	△ 13	△ 8	-
税引前四半期利益	△ 5	519	524	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	△ 23	426	449	-
為替レート(円/US\$)	108	110	+ 2	
国産ナフサ(円/KL)	24,900	47,700	+ 22,800	

3-2) 決算の概要 (コア営業利益)

- ①各セグメント共、需要回復に伴い販売は大きく回復
- ②ICT関連材料、ビジョンケア材料、農薬は引続き販売堅調
- ③不織布は、COVID-19による品薄状況の解消
- ④ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し高水準
- ⑤20年度1Qの原料価格急落に伴う在庫評価損(含むフォーミュラ期ずれ影響)の解消、及び21年度1Qの原料価格上昇に伴う在庫評価益
- ⑥需要回復に伴う増販及び市況改善に伴い持分法投資損益の改善



4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

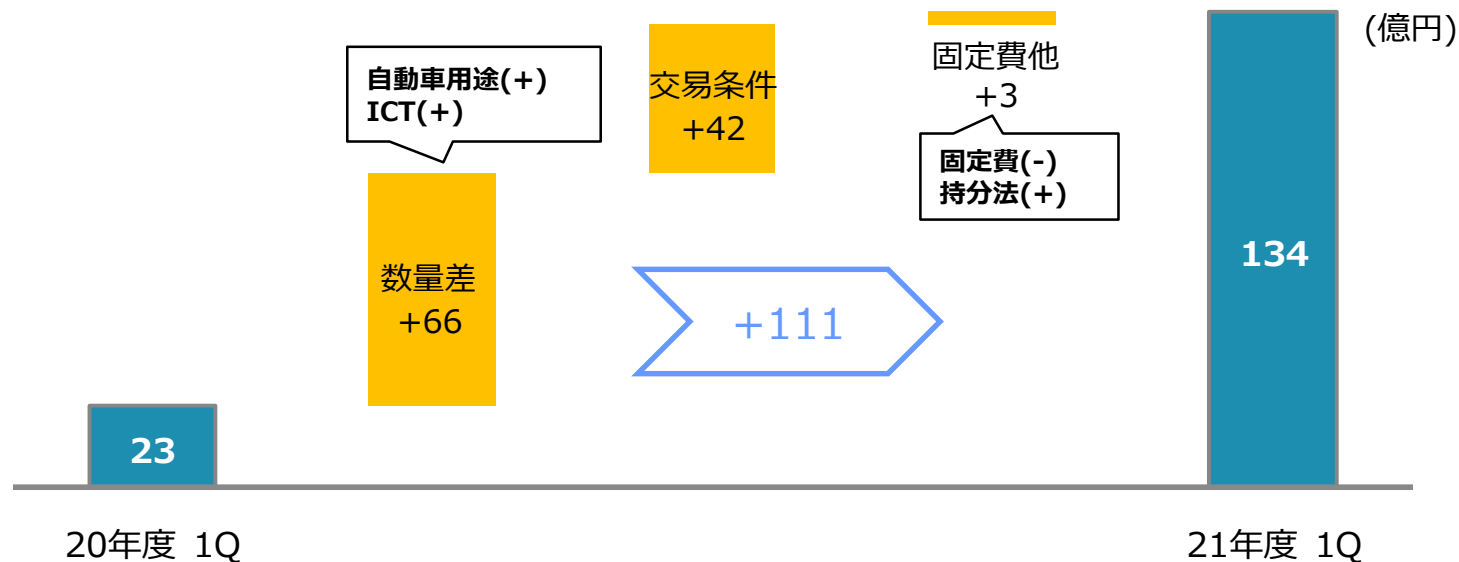
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	20年度 4-6月決算	21年度 4-6月決算	増減	20年度 4-6月決算	21年度 4-6月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	583	964	381	23	134	111	66	42	3
ヘルスケア	289	412	123	14	60	46	69	△ 6	△ 17
フード & パッケージング	454	535	81	44	70	26	36	△ 13	3
基盤素材	1,186	1,762	576	△ 63	267	330	31	243	56
その他	33	33	0	△ 12	△ 12	0	-	-	0
合計	2,545	3,706	1,161	6	519	513	202	266	45
成長3領域*	1,326	1,911	585	81	264	183			

*モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

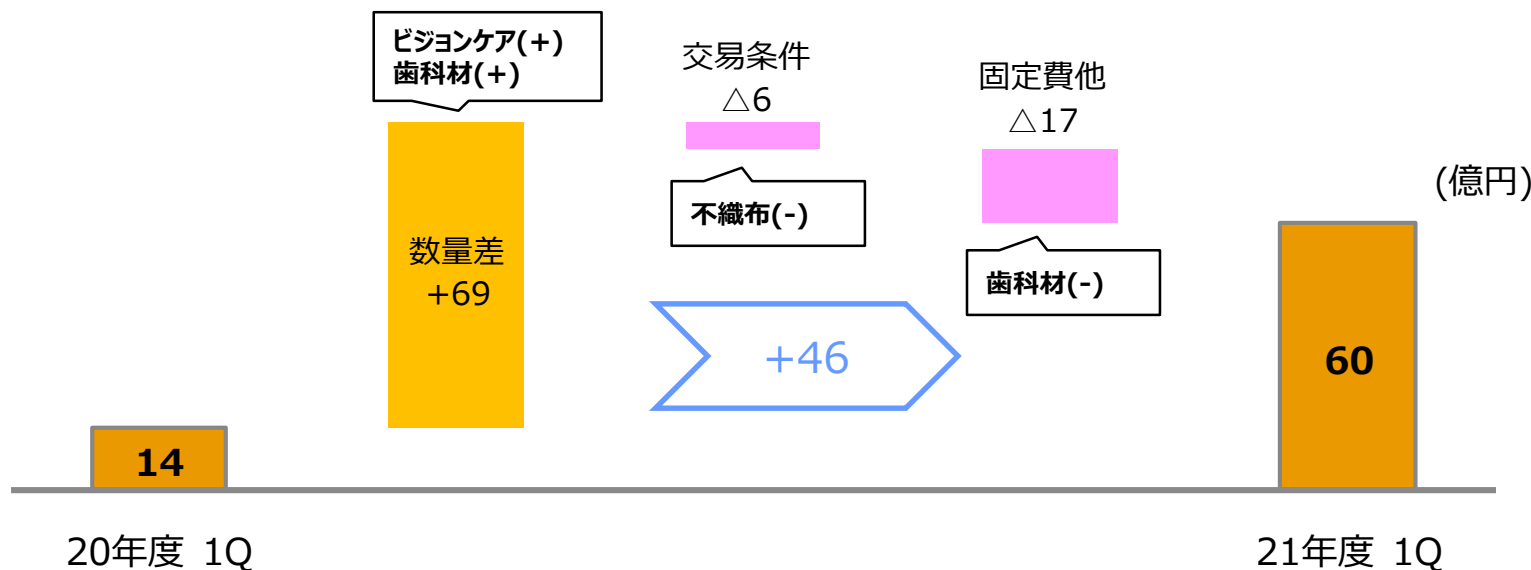
5 - 1) モビリティ:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感	
	21年度1Q決算	
		'20.1Q →'21.1Q
PPコンパウンド エラストマー 機能性コンパウンド	 - 自動車生産台数の回復に伴い販売増 - 価格改定による交易改善、原料価格上昇に伴う在庫評価益 - 持分法投資損益の改善 - 新設プラント稼働により固定費増(タフマー、ルーカント)	数量(+) 交易条件(+) 持分法(+) 固定費(-)
機能性ポリマー	 - ICT関連材料の販売は堅調に推移 - 新設プラント稼働により固定費増(EUVペリクル)	数量(+) 固定費(-)
ソリューション事業	 展示会の中止等による試作案件の受注減	-



5 - 2) ヘルスケア:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感		'20.1Q →'21.1Q
	21年度1Q決算		
ビジョンケア		・需要回復に伴い販売は堅調に推移	数量(+)
不織布		・COVID-19による品薄状況は解消 ・原料価格上昇に伴う交易悪化	数量(-) 交易条件(-)
歯科材		・需要回復に伴い販売は堅調に推移 ・販売回復に伴う固定費増	数量(+) 固定費(-)



数量差
+36

交易条件
△13

固定費他
+3

(億円)

44

産業用フィルム(+)
農業(+)
コーティング機能材(+)

+26

包装用フィルム(-)
コーティング機能材(-)

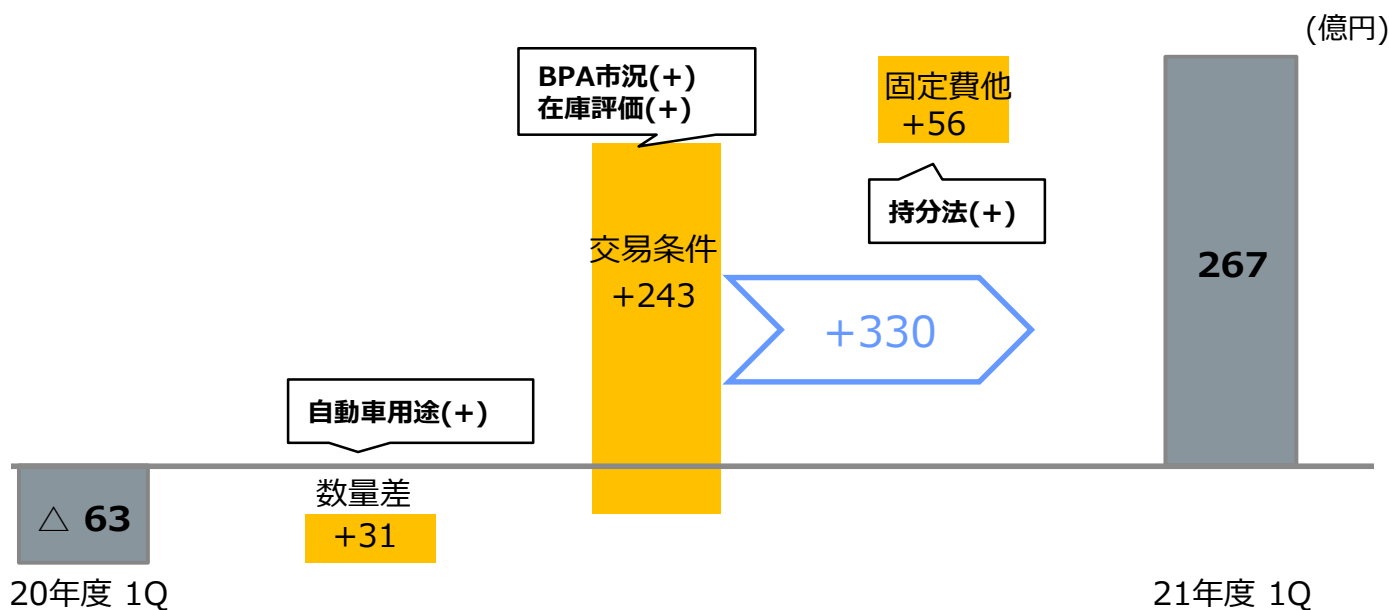
70

20年度 1Q

21年度 1Q

5-4) 基盤素材:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感		'20.1Q →'21.1Q
	21年度1Q決算		
石化		・原料価格上昇に伴う在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ) ・自動車用途を中心に販売増 ・クラッカーは高稼働で推移	数量(+) 在庫(+)
基礎化		・需要回復に伴い販売増 ・ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し高水準で推移	数量(+) 交易条件(+) 持分法(+)
ウレタン		・市況改善に伴い持分法投資損益改善	持分法(+)



6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	20年度 4-6月決算	21年度 4-6月決算	増減
固 定 資 産 処 分 ・ 売 却 損 益	△ 4	△ 1	3
そ の 他	△ 2	14	16
非経常項目 合計	△ 6	13	19

7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	21年3月末	21年6月末	増減
流 動 資 産	(7,876)	(8,431)	(555)
現 金 及 び 現 金 同 等 物	1,960	2,157	197
営 業 債 権	2,858	2,936	78
棚 卸 資 産	2,588	2,856	268
そ の 他	470	482	12
非 流 動 資 産	(7,705)	(7,829)	(124)
有形固定資産及び 使 用 権 資 産	5,020	4,992	△ 28
の れ ん 及 び 無 形 資 産	208	208	△ 0
非 流 動 の そ の 他 の 資 産	2,477	2,629	152
合 計	15,581	16,260	679

摘 要	21年3月末	21年6月末	増減
負 債	(8,760)	(9,062)	(302)
営 業 債 務	1,197	1,379	182
有 利 子 負 債	5,638	5,889	251
そ の 他	1,925	1,794	△ 131
資 本	(6,821)	(7,198)	(377)
親会社の所有者に 帰 属 す る 持 分	6,079	6,450	371
非 支 配 持 分	742	748	6
合 計	15,581	16,260	679

8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	20年度 4-6月決算	21年度 4-6月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	503	287	△ 216
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 249	△ 231	18
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	254	56	△ 198
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	412	137	△ 275
IV. その他	△ 4	4	8
現預金等増減	662	197	△ 465

2. 2021年度業績予想の概要

1 - 1) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘 要	21年度前回予想 (21.5.13発表)		21年度予想		増減 (b)-(a)		20年度決算	
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	年度	%	4-9月	年度
売上収益	6,700	14,000	7,600	14,900	900	6%	5,370	12,117
コア営業利益	600	1,150	860	1,410	260	23%	186	851
非経常項目	△ 30	△ 20	△ 30	△ 20	0	—	△ 7	△ 70
営業利益	570	1,130	830	1,390	260	23%	179	781
金融収益・費用	△ 25	△ 50	△ 30	△ 55	△ 5	—	△ 22	△ 39
税引前利益	545	1,080	800	1,335	255	24%	157	742
親会社の所有者に 帰属する当期利益	415	790	620	995	205	26%	96	579
為替レート(円/US\$)	108	108	110				107	106
国産ナフサ(円/KL)	48,000	48,000	50,350				27,600	31,300

配 当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
	55 円/株	55 円/株	55 円/株	55 円/株	+0円/株	+0円/株	50 円/株	50 円/株
	通期 110 円/株		通期 110 円/株		通期 +0円/株		通期 100 円/株	

1 - 2) 業績予想の概要 (コア営業利益)

【下期事業動向】

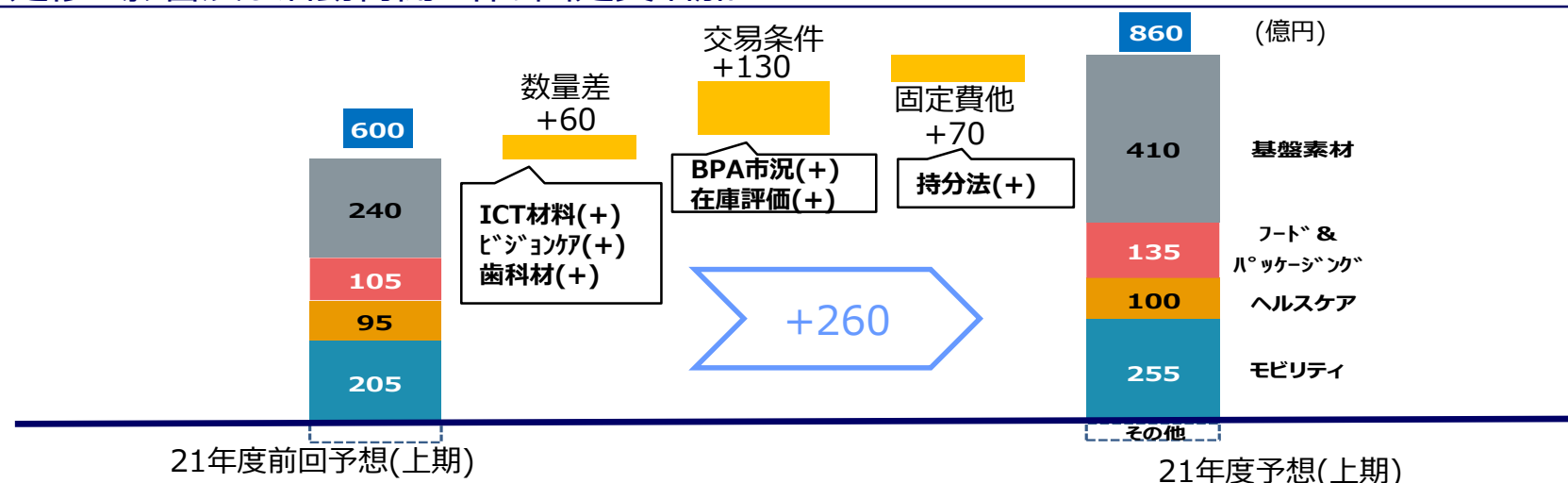
販売は引続き堅調に推移すると見込まれるが、現時点で原料価格及び海外市況等を見通すことが困難な為、下期については見直しを行わない。

【前回予想時点からの事業動向変化】

- ①北米寒波影響解消によりビスフェノールAの海外市況は、1Qから2Qに下落を見込むものの、引続き需給環境が逼迫し高水準継続
- ②半導体需要増に伴うICT関連材料、及びビジョンケア材料、歯科材料等の拡販
- ③原料価格上昇に伴う在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ影響)

【1Qから2Qへの事業動向変化】

- ①ビスフェノールAの海外市況の下落(但し、前回予想を上回る水準)
- ②原料価格上昇に伴う在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ影響)の解消
- ③定修の影響及び活動再開に伴う固定費増加



2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想 (対前回予想)

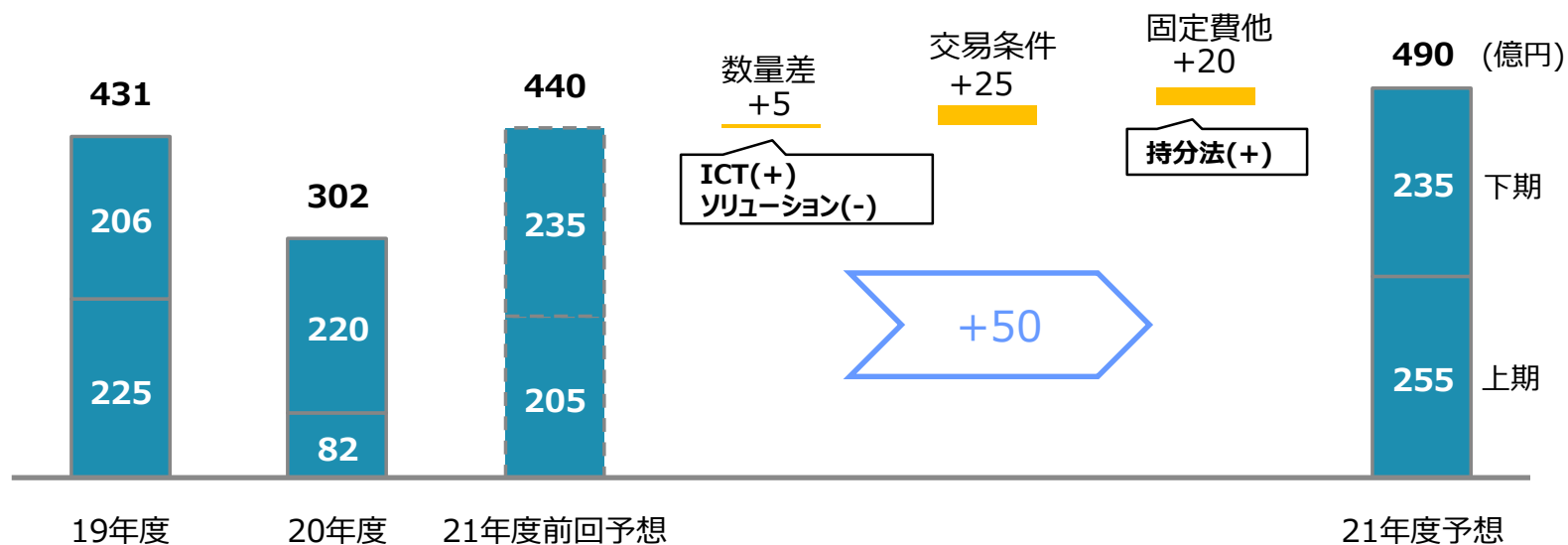
(単位：億円)

セグメント	売上収益					コア営業利益				
	21年度前回予想 (21.5.13発表)		21年度予想		増減 (b) - (a)	21年度前回予想 (21.5.13発表)		21年度予想		増減 (d) - (c)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度 (c)	4-9月	年度 (d)	
モビリティ	1,850	3,850	2,050	4,100	250	205	440	255	490	50
ヘルスケア	730	1,500	800	1,600	100	95	210	100	215	5
フード & パッケージング	1,000	2,150	1,080	2,260	110	105	240	135	270	30
基盤素材	3,050	6,350	3,600	6,800	450	240	360	410	530	170
その他	70	150	70	140	△ 10	△ 45	△ 100	△ 40	△ 95	5
合計	6,700	14,000	7,600	14,900	900	600	1,150	860	1,410	260
成長3領域*	3,580	7,500	3,930	7,960	460	405	890	490	975	85

* モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

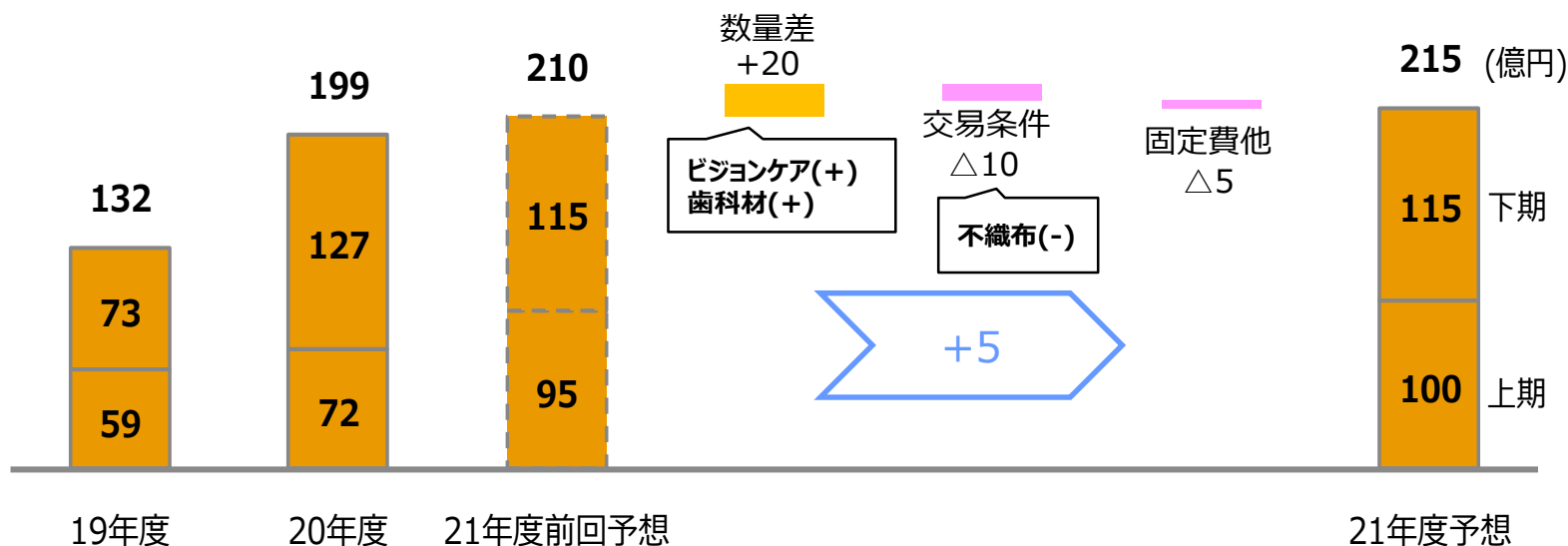
3-1) モビリティ:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感		
	21年度予想 前回予想からの変化(上期)		1Q→2Q
PPコンパウンド エラストマー 機能性コンパウンド	 - 原料価格上昇に伴う価格改定、及び在庫評価益 - 持分法投資損益の改善	交易条件(+) 持分法(+)	コア営業利益 1Q : 134 → 2Q : 121
機能性ポリマー	 ICT関連の販売は堅調に推移	数量(+)	
ソリューション事業	 試作案件の受注減	数量(-)	



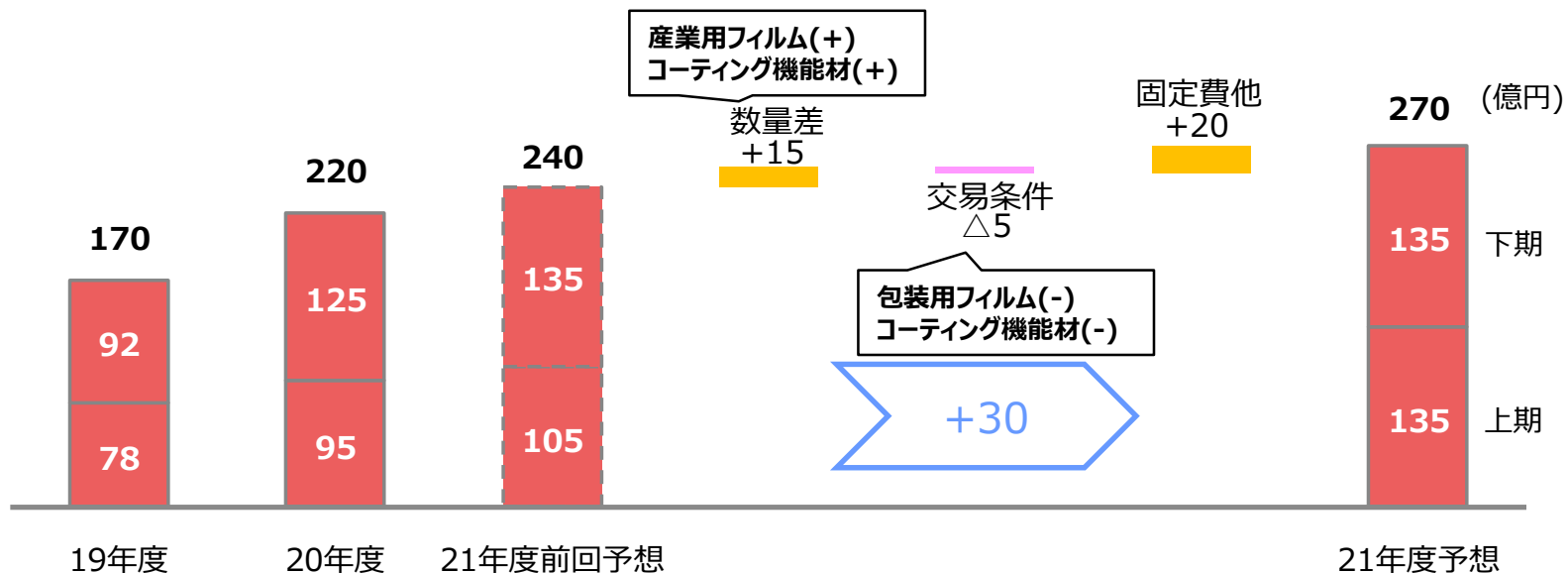
3-2) ヘルスケア:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感		
	21年度予想 前回予想からの変化(上期)		1Q→2Q
ビジョンケア	➡ ・販売は堅調に推移	数量(+)	コア営業利益 1Q : 60 → 2Q : 40
不織布	➡ ・原料価格上昇に伴う交易悪化	交易条件(-)	
歯科材	➡ ・販売は堅調に推移	数量(+)	



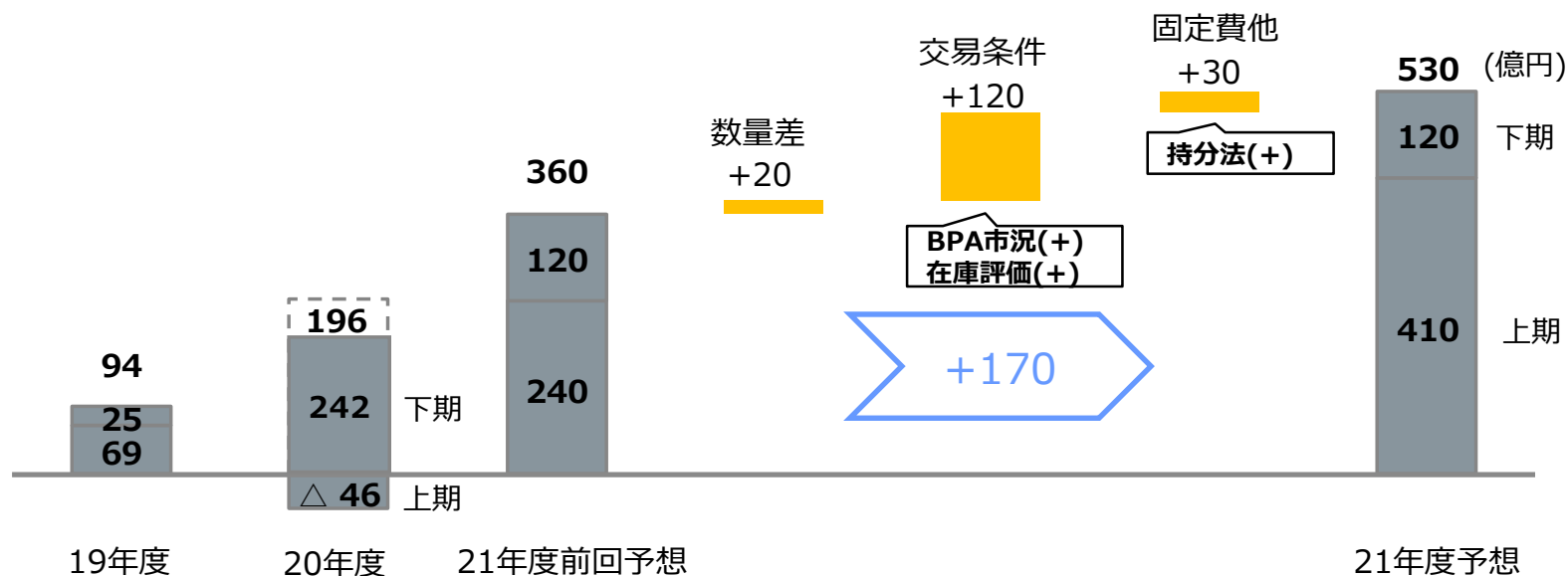
3-3) フード&パッケージング:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感		
	21年度予想 前回予想からの変化(上期)		1Q→2Q
包装用フィルム	 ・販売は堅調に推移 ・原料価格上昇に伴う交易悪化	交易条件(-) 固定費(+)	コア営業利益 1Q : 70 → 2Q : 65
産業用フィルム	 ・半導体需要増に伴い販売は堅調に推移	数量(+)	 ・販売は引続き堅調に推移 ・原料価格上昇による交易悪化 ・海外農薬需要期
農薬	 ・販売は堅調に推移	—	



3 - 4) 基盤素材:コア営業利益増減/事業動向変化

コア営業利益の方向感			
21年度予想 前回予想からの変化(上期)			1Q→2Q
石化	 - 販売は堅調に推移 - 原料価格上昇に伴う在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ)	数量(+) 在庫(+)	コア営業利益 1Q : 267 → 2Q : 143
基礎化	 - ビスフェノールAの海外市況は、想定を上回る高水準で推移 - 原料価格上昇に伴う在庫評価益	交易条件(+) 在庫(+) 持分法(+)	
ウレタン	 市況は想定を上回る水準で推移	持分法(+)	



4) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘 要	21年度前回予想 (21.5.13発表)	21年度予想	増減 (b)-(a)
	4-9月(a)	4-9月(b)	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	680	970	290
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 640	△ 650	△ 10
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	40	320	280
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	160	△ 260	△ 420
IV. その他	0	0	0
現預金等増減	200	60	△ 140



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する